

## 4 「読むこと イ」の「思考・判断・表現」を評価するテスト

## (1) 改善前のテスト Before

次の英文は、家族とアメリカに引っ越し、新生活を始めたマコトさん(Makoto)と、彼の近所に住むエマさん(Emma)の話です。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

～英文省略～

(1) ( ) に当てはまる英語 1 語を、次のア～エから 1 つ選んで記号を書きなさい。

ア report                      イ book                      ウ diary                      エ music

(2) 本文の内容と合っているものを、次のア～オからすべて選んで記号を書きなさい。

ア Makoto sometimes wrote a blog in English to improve his English.

イ Makoto isn't happy to know that Emma likes to play the piano.

ウ Makoto learned about Emma's hobbies at her birthday party.



エ Emma sang many songs in front of guests at her birthday party.

(3) 次の英文は、マコトさんのブログの一部です。本文の内容に合うように、①～③に入る適切な英語を書きなさい。ただし、1 語でなくてもよい。

I visited Emma's house for her birthday party. I made a lot of new friends there. We talked about many things and ( ① ) lunch together. After that, we did karaoke. I was really ( ② ) to hear Emma's singing because she sang very well. I ( ③ ) with her again.

## 【改善前のテストの問題点】

- ① (1) は、単語の知識があれば答えることができるため、読むことの資質・能力を評価する問題になっていないこと。
- ② (2) は、選択肢の英文および本文中の英文を正確に読めるかどうかを問われている知識・技能を評価する問題であり、思考・判断・表現を評価する問題になっていないこと。
- ③ (3) は、特定の英文のみを読めば答えられる問題であり、文章全体を読んでその概要を捉える問題になっていないこと。

(2) 改善に向けて（全国学力・学習状況調査の問題の活用  とチームでの検討  ）

令和 5 年度全国学力・学習状況調査の調査問題を参考に、生徒が英文を読んで概要を捉える力を育成すべく、以下の内容について教科会で検討した。

- ① R5 全国学力・学習状況調査の 7 (2) の問題を参考に、概要を捉える力を測る問題を作成  
改善前のテストは、単語の知識があれば答えることができる問題や、英文の特定部分を読めば解答できる問題となっていた。そこで、学力調査の調査問題を参考に、文と文の関係や段落と段落の関係を捉えながら、英文の概要（文章全体の大まかな内容）を捉える力を測る問題を作成した。
- ② 英文の概要を捉える力をつけるための単元構想  
簡単な語句で書かれた短い英文を読み、概要を捉える力を育む単元を実施した。
- ③ 教科会で検討した普段の授業における言語活動  
文章全体を読んだ上で、グループで意見交換をしながら、意見交換をしながら、段落ごとの話題と主な内容や、書き手が最も伝えたい内容などを捉えたいうえで、大まかな内容など捉える活動を行った。

### (3) 改善後のテスト After

ハジメさんたちは、自分たちの地域のコミュニティーセンターについて ALT に紹介している。次の英文は、ハジメさんの発表である。

～英文省略～

(1) ハジメさんが発表の冒頭に大まかな内容をスライドで示した。ハジメさんが示したスライドとして適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

<p>1</p> <p><b>Community centers today</b></p> <p>①Various activities — sports, art, crafts, cooking, dance</p> <p>②Various Spaces — gym, creative room, lounge area — small rooms for personal things</p> <p>③Connect people — Through lessons, Talk each other</p>	<p>2</p> <p><b>Community centers today</b></p> <p>①Various activities — sports, art, crafts, cooking, dance</p> <p>②Relaxation — lounge area, small rooms</p> <p>③Multipurpose rooms — the painting rooms for adults — the gym for children</p>
<p>3</p> <p><b>Community centers today</b></p> <p>①Various lessons or classes — sports, art, crafts lessons — cooking, dancing classes</p> <p>②Various Spaces — gym, creative room, lounge — small rooms for personal things</p> <p>③Parents can talk each other — While their kids are playing</p>	<p>4</p> <p><b>Community centers today</b></p> <p>①Various activities and spaces — classes and lessons — gym, creative room, lounge area</p> <p>②Various services — learn techniques by e-mails — take care of children</p> <p>③Parents can talk each other — While their kids are playing</p>



- ① 英文の特定の部分のみを読めば答えられる問題ではなく、英文全体を読み、概要を捉える力を問う問題を作成した。
- ② 英文の発表に使用したスライドとして適切なものを選ぶ問題を作成し、段落ごとの大まかな内容を過不足なく含むものを、英文全体の概要を適切に捉えたものと考え、正答とした。
- ③ 授業改善後、改善した問題の正答率  
24.4% (学力調査問7(2) (4月実施) の正答率) →39.1%(改善後のテスト実施結果)に向上  
「初めて読む文は段落ごとに大まかな内容を捉えてから細かく読み進めることで、より概要を捉える力が付きました。」  
(単元終了後、改善後のテストに解答した生徒の感想より抜粋)

### (4) 授業における言語活動 ～指導と評価の一体化に向けて～



英文の概要を捉える力を育成すべく、全国学力・学習状況調査の「報告書」にある授業アイデア例を参考に、授業では以下のような言語活動を行った。

- ・ 文章全体を読んだ上で、グループで意見交換をしながら、段落ごとの概要や要点を捉えて、時系列や内容ごとに情報を整理する活動を行った。
- ・ 捉えた段落ごとの要点や概要などを踏まえて、内容のまとまりごとに分け、それぞれのまとまりに英語の小タイトルをつける活動を行った。



#### 4 「読むこと イ」の「思考・判断・表現」を評価するテスト 学習カード例

##### 【言語活動でを使用した学習カード①】

各段落の主な内容を捉えよう。★文と文の関係

段落	各段落の <u>主な内容</u> を示している英文を抜き出そう
①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	

##### 【言語活動でを使用した学習カード②】

形式段落①～⑦を、内容のまとまりごと（意味段落）に分けよう。★段落と段落の関係

※①～⑦には、各形式段落のはじめの数語が入っている。

形式段落	意味段落（まとまりの数も話し合って決めよう）
① In 1955, ~	
② These unfair law~	
③ Dr. King~	
④ In 1963, ~	
⑤ I have a dream that~	
⑥ I have a dream that~	
⑦ In 1964, ~	

##### 【言語活動でを使用した学習カード③】

物語の概要を図にまとめよう。

※生徒は各意味段落の見出しをグレーの部分に記入するとともに、英文内の( )に適する語を記入する。

